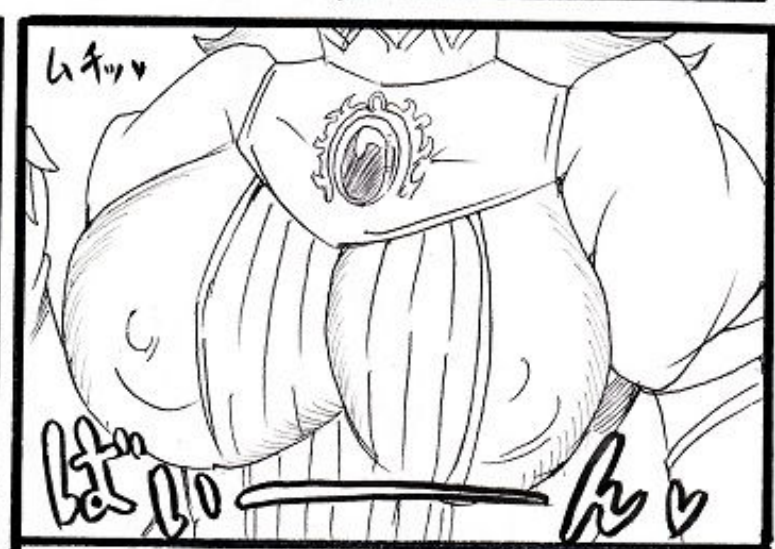


S  
M  
M  
H  
にんにん堂



スーパームッチリマリ男ヒロインズ

# S M M H



「お待たせ♥」

「お姉さん達がたーっぷり相手してあ・げ・る♥」

はあ♥

はあ♥

はあ♥

「さあ坊や」

はあ♥

いらっしやい♥

くっぷり♥

くっぷり♥

僕はいつの間にか眠っていたみたいで目が覚めるとそこには2人の女性が立っていた。面積の少ない水着からは乳輪やマン毛がはみ出し、ワキ毛ももっさりだ。だが、1番驚いたのは2人の体型だ。ムッチムチのその身体に僕の股間はもうパンパンになっていた…。

くっぷり♥



「あらあら、見るからに  
スケベそうな子ね…♡」

「乱暴にしたらダメよ♡  
おま●こは優しく…ね♡」

いい子ね

よしよし

アへ♪

アへ♪

♡♡♡♡♡

り子♡

り子♡

ザン

僕は状況が理解  
出来ないまま  
本能に従った。

良い匂いがする二人の  
匂いを嗅ぎながら僕は  
おっぱいに挟まれ、お  
ま●こを弄りまくった。

「もう、夢中になっちゃって♥」

「おっぱいおいちいでちゅか？」

ピ●チさんのおっぱいは弾力があって乳首がコリコリだ。



「この坊やったらタコみたいに吸いついちゃって…♥」

「乳首伸びちゃう♥」



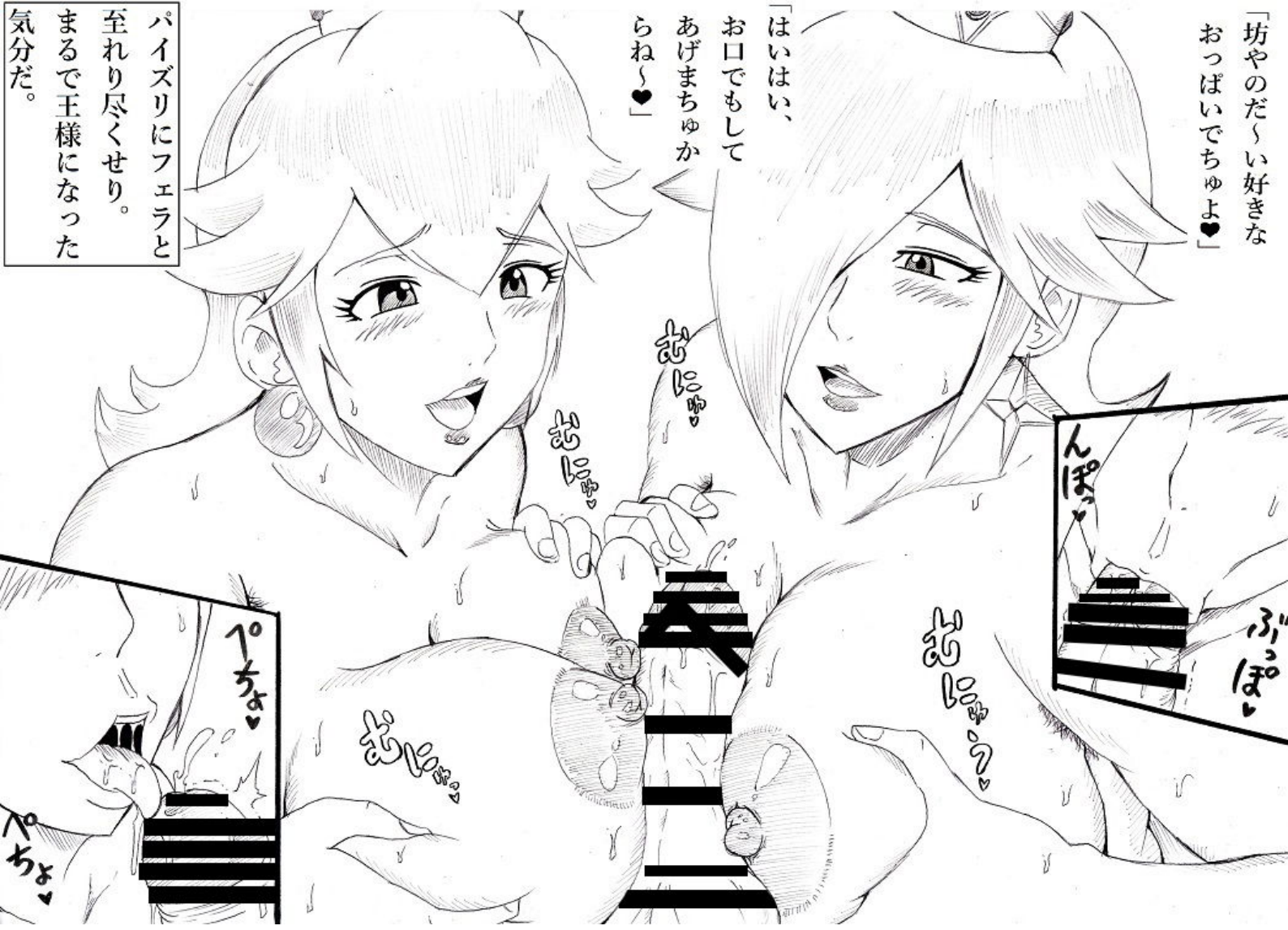
ロゼ●タさんの方はとても柔らかい。乳首はぷっくりしていてやや大き目だ。



「坊やの大好きな  
おっぱいでちゅよ♡」

「はいはい、  
お口でもして  
あげまちゅか  
らね♡」

パイズリにフェラと  
至れり尽くせり。  
まるで王様になった  
気分だ。





「ついにお尻  
でイッちゃ  
ったわね♥」

お...

あひっ

「凄い勢いね♥  
これならまだ  
まだ楽しめそ  
うだわ...♥」

やばい、お尻凄いよ。  
ムッチリデカ尻最高  
だよ♪

お尻でこんなに気持ち  
いいなんて、おま●こ  
に入れたらどんだけ気  
持ちいいんだろう？  
犯す。このメス豚二匹  
犯しまくってやる。

「一心不乱に腰振っち  
やっつて、可愛い…♥」

「いつでも何発でも  
ドツピユンして  
いいんだからね♥」

んっ

おっ

おほっ

パッ

パッ

パッ

ドクッ

ドクッ

パッ

ドクッ

ドクッ

パッ

あっ

あん

やべえ、マジやべえよ。  
おま●こ気持ちよすぎ。

余裕ぶっこきやがって  
今にアヘアへによがら  
せてやつからな…。  
…うおっ、イク♥



「とりあえず一回  
イかせて頂戴…♥」

「ピ●チとのあんな  
セックス見せつけ  
られて、もう我慢  
出来ないわよっ♥」

おおっ♥

ほっ♥

おおっ♥

おおっ♥

おおっ♥

上からやべえ。  
こいつ恥ってもんが  
ねえのか？どんだけ  
俺のち●ぽに夢中な  
んだよ？…

って、俺もま●こに  
夢中だけどな(笑)

ち●ぽ

あひゃ

ひひゃっ

バチゅ♥

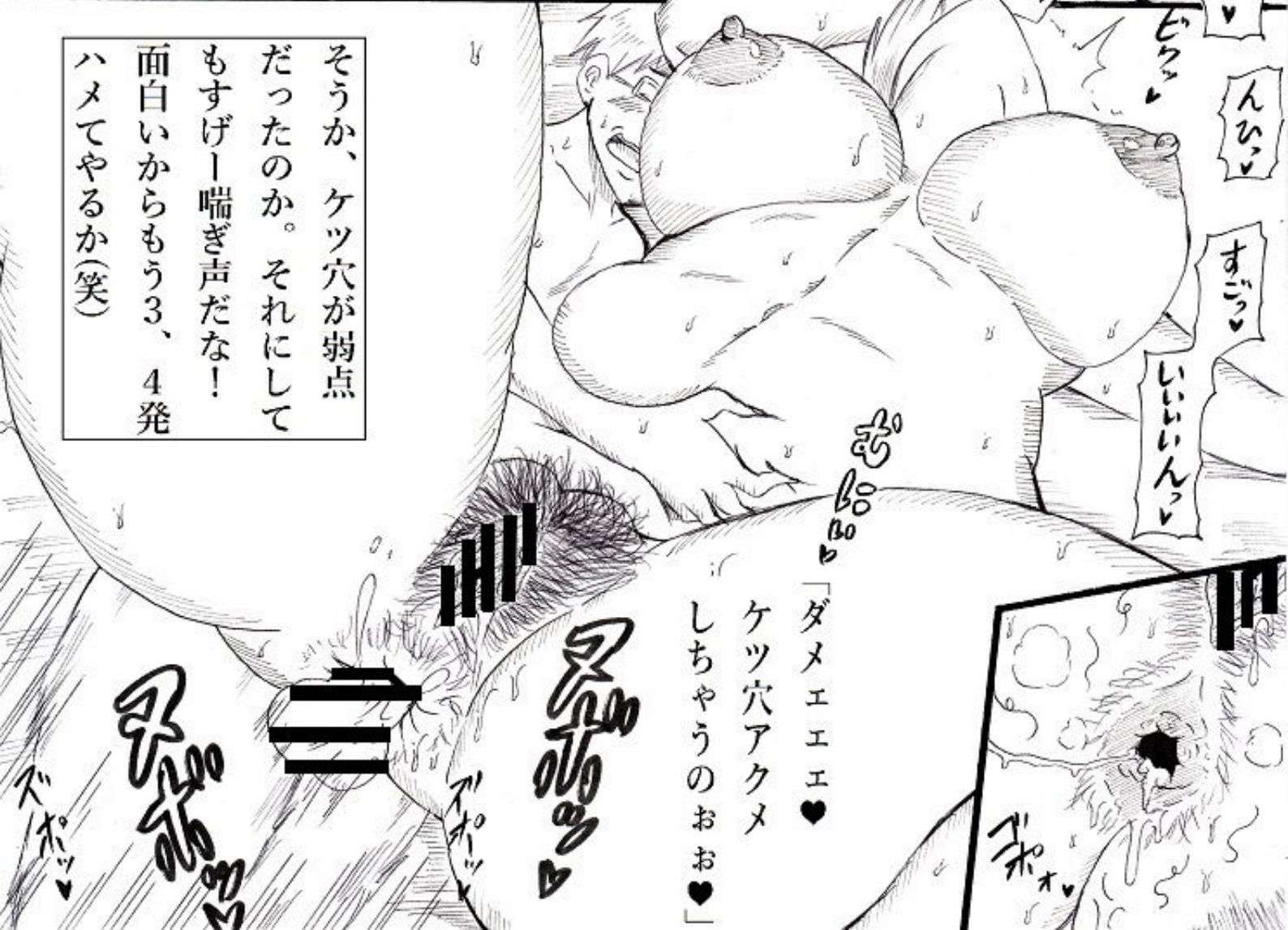
バチゅ♥





オラオラッ！  
醜い喘ぎ声出し  
やがって！  
さすがにケツ穴  
はキツイな！

そうか、ケツ穴が弱点  
だったのか。それにし  
てもすげー喘ぎ声だな！  
面白いからもう3、4発  
ハメてやるか(笑)



「ダメエエエ♡  
ケツ穴アクメ  
しちやうのおお♡」



「この坊やったら  
性欲凄すぎい……♥」

はあ……

はあ……

はあ……

はあ……

「これはお持ち  
帰り決定ね……♥」

どうだ、メス豚共……  
俺様のち●ぽでノッ  
ク・アウトだろ……

一回か……

「ねえ、坊や。  
お肉まみれのむっち  
りセックス良かった  
でしょ？」

「あ、はい。  
最高でした。  
また是非お  
願います。」

「あ、はい。  
最高でした。  
また是非お  
願います。」



「そう、いいわ…  
もつとペロペロ  
して♥」

「気持ちよくして  
くれたらデ●ジー  
のおま●こ汁飲ま  
せてあげるから♥」

あっ

ん

普段はおじさん  
ばかりを相手に  
してるから何だ  
か新鮮ね…♥

横の子めっちゃ  
欲情しちゃって  
るじゃない♥  
まずはカレから  
ハメさせてあげ  
るかな♥

ゴア

へん

へん



「ちよ…キミ、激しすぎっ♥  
私だからいいけど、そんな  
自分勝手な腰使いじゃ女の  
子に嫌われるわよっ…♥」

出して…キミの  
生臭い精子、私  
に注いで…♥

ただ力任せに、欲望のままに  
腰振ってるだけなのに…  
私…凄い感じじゃってる…♥

一生懸命、バカ  
みたいに腰振っ  
て…可愛いじゃ  
ない…♥





「散々中出ししまくったと  
思ったら…今度は身体中  
精液まみれにしちゃって  
…困った子たちね…♥」

はあ…

はあ…

ぬちやん

はあ…

はあ…

はあ…

いん

ぬちやん

どろどろ

いん

いん

END

「…あら、2人とも  
お帰りなさい。  
そんなスケベそう  
な子連れて来ちゃ  
って…この子たち  
貸すから、その子  
とやらせなさいよ  
…決まりね♥」





しい子ね

おっ

アへ

アへ

おっ

おっ

おっ

おっ

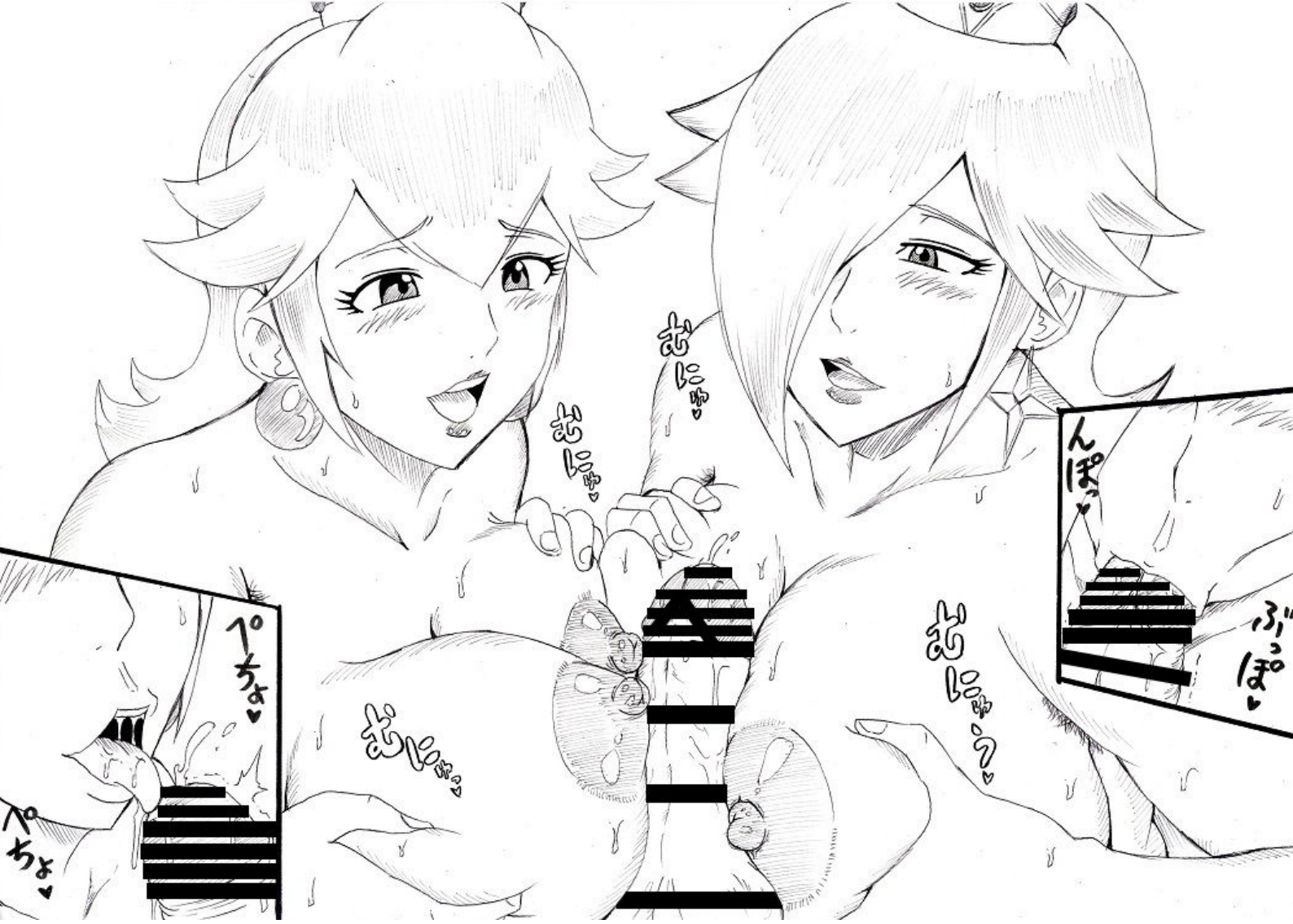
おっ



おっ













おおっ♡

ほっ♡

おおっ♡

おおっ♡

おおっ♡

バチ♡

バチ♡

あひゃ

ひひゃ

たっ♡

たっ♡

















はあ

はあ

はあ

はあ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ